

文献

(第 1 版の文献に第 2 版で参照した文献を追加)

1 全国の温泉・鉱泉, 及び温泉一般に関する文献

Bryan, K. (1919) Classification of springs. Journal of Geology, vol. 27, 522-561

地質調査所(1975) 200 万分の 1 地質編集図, no.8, 日本温泉分布図

地質調査所(1979)地質図類の用語・記号について

福富孝治(1952)微温泉と冷泉の境界温度に就いて. 北大地球物理学研究報告, 2 号, 17-22

藤沢 優(1977)ヨーロッパの温泉とマーク. 温泉, 45 巻, 1 号, 5-6

平野威馬雄(1957)温泉記号から辿りはじめて. 温泉, 25 巻, 11 号, 48-49

平野富雄(1997)温泉分析の二つの役割と温泉の定義及び分析法決定の経過について. 神奈川県温泉地学研究所報告, 28 巻, 2 号, 1-8

比留川 貴・安藤直行・角 清愛(1977) 日本の主要地熱地域の熱水の化学組成. 地調報告, no. 257, 934p.

比留川 貴・安藤直行・角 清愛(1981) 日本の主要地熱地域の熱水の化学組成, その 2. 地調報告, no. 262, 399p.

比留川 貴・高橋正明・茂野 博(1988) 日本の主要地熱地域の熱水に適用した地球化学温度計. 地調報告, no. 267, 754p.

北條 浩(1999)温泉の法社会学—温泉分析表と温泉の効能—. 温泉, 67 巻, 6 号, 4-7

環境庁自然保護局監修(1978)鉱泉分析法指針(改訂), 温泉工学会, 75p.

金原啓司・阪口圭一(1989) 日本の主要地熱地域の地質と温泉・変質帯分布. 地調報告, no. 270, 482p.

金原啓司(1992)日本温泉・鉱泉分布図及び一覧. 地質調査所, 394p.

木暮 敬(1977)温泉マークの変遷と外国の温泉マーク. 温泉, 45 巻, 1 号, 8-11

講談社(1977)世界科学大事典

Lund, J. W. (1992) Geothermal Resources Council, Transactions, vol.16, 3-7

美坂哲夫(1988) 諸国いで湯案内 1, 北海道編. 山と溪谷社, 158p.

美坂哲夫(1988) 諸国いで湯案内 2, 東北編. 山と溪谷社, 190p.

美坂哲夫(1988) 諸国いで湯案内 3, 関東編. 山と溪谷社, 158p.

美坂哲夫(1988) 諸国いで湯案内 4, 甲信越編. 山と溪谷社, 182p.

美坂哲夫(1989) 諸国いで湯案内 5, 東海・北陸編. 山と溪谷社, 158p.
美坂哲夫(1988) 諸国いで湯案内 6, 近畿・中国・四国編. 山と溪谷社, 166p.
美坂哲夫(1989) 諸国いで湯案内 7, 九州編. 山と溪谷社, 166p.
日本交通公社出版事業局(1987) 全国温泉案内 1800 湯. 625p.
日本交通公社出版事業局(1995) 全国温泉案内. 531p.
日本測量協会(1985) 建設省公共測量作業規定
大崎 康(1984) 温泉法の若干の問題について. 地熱, 21 巻, 65-70
大島良雄(1961) 温泉の医療的効果. 温泉研究, 20・21・22 合併特集号, 28-35
角 清愛(1975) 日本温泉・鉱泉一覧. 地質調査所, 134p.
塚本忠之(1982) 昭和 55 年度全国温泉利用状況一覧. 温泉工学会誌, 16 巻, 1-65
Waring, G. A. (1965) Thermal springs of the United States and other countries of the world-A summary. Geological Survey Professional Paper 492, 383p.

2 各都道府県の温泉・鉱泉に関する文献

(アルファベット順でなく, 出典ごとにグルーピングして掲載した)

(北海道)

北海道立地下資源調査所(1976) 北海道の地熱・温泉(A)西南北海道中南部. 158p.
北海道立地下資源調査所(1977) 北海道の地熱・温泉(B)西南北海道北部. 198p.
北海道立地下資源調査所(1979) 北海道の地熱・温泉(C)北海道中央部. 192p.
北海道立地下資源調査所(1982) 北海道の地熱・温泉 (D)北海道東部. 106p.
北海道立地下資源調査所(1982) 北海道地熱温泉一覧表. 22p.
北海道立地下資源調査所(1985) 北海道の地熱・温泉一1985 年・I 版一. 98p.
北海道立地下資源調査所(1985) 北海道の地熱・温泉一1985 年・II 版一. 80p.
北海道立地下資源調査所(1991) 北海道の地熱・温泉ボーリング井データ集～1990. 205p.
北海道立地下資源調査所(1991) 北海道の地熱・温泉ボーリング井索引図～1990. 144p.
北海道立地下資源調査所(1995) 北海道市町村の地熱・温泉ボーリング一地域エネルギー開発利用施設整備事業一(昭和 55 年度～平成 5 年度). 256p.
新エネルギー総合開発機構(1988) 地熱開発促進調査報告書, no.12, 豊羽地域.

1156p.

新エネルギー総合開発機構(1988) 地熱開発促進調査報告書, no.13, 南茅部地域. 1170p.

新エネルギー総合開発機構(1987) 全国地熱資源総合調査(第2次), 火山性熱水対流系地域タイプ(ニセコ地域), 地熱調査成果図表. 92p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 全国地熱資源総合調査(第3次), 広域熱水流動系調査, 十勝地域, 流体地化学調査報告書(要旨). 91p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1990) 地熱開発促進調査報告書, no.19, 八雲地域. 1163p.

山口昇一(1978) 知内地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所, 55p.

秦 光男・垣見俊弘(1979) 木古内地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所, 56p.

内務省衛生局(1935) 全国鉱泉調査. p.108-109.

(青森)

青森県環境保健部 未公表資料

小林英一・渡辺幸子・小鹿 晋・田沢恵子・秋山由美子・古川章子(1970 - 1972) 青森県の温泉について. 青森県衛研報, no.11, p.51-72.

桶田幾代・小林英一・秋山由美子・渡辺幸子・田沢恵子(1975) 青森県の温泉について. 青森県衛研報, no.13, p.3-36.

桶田幾代・高橋政教・小林英一(1976) 青森県の温泉について. 青森県衛研報, no.14, p.42-50.

桶田幾代・野村真美・高橋政教・小林英一(1979) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.15, p.58-70.

小林英一・高橋政教・桶田幾代・野村真美(1979) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.16, p.46-55.

小林英一・高橋政教・桶田幾代・野村真美(1980) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.17, p.44-55.

高橋政教・小林英一・桶田幾代・野村真美(1981) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.18, p.52-63.

高橋政教・野村真美・桶田幾代・小林英一(1982) 青森県の温泉. 青森県衛研報,

no.19, p.47-58.

野村真美・桶田幾代・高橋政教・小林英一(1983) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.20, p.41-56.

野村真美・村上淳子・平出博昭・高橋政教・小林英一(1984) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.21, p.59-69.

秋山由美子・野村真美・木村淳子・平出博昭・小林英一(1985) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.22, p.75-84.

秋山由美子・木村淳子・高橋政教・小林英一(1986) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.23, p.72-83.

小林繁樹・木村淳子・高橋政教・小林英一(1987) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.24, p.75-87.

石塚伸一・小林繁樹・木村淳子・高橋政教・小林英一(1988) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.25, p.69-78.

石塚伸一・木村淳子・高橋政教・小林英一(1989) 青森県の温泉. 青森県衛研報, no.26, p.108-119.

青森県企画部(1981) 青森県地下水調査報告書. 339p.

村岡洋文・高倉伸一(1988) 10 万分の 1 八甲田地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-4), 地質調査所, 27p.

(岩手)

佐藤 彰・斉藤憲光・高橋 悟(1977) 岩手県の温泉に関する研究(第 13 報)一温泉の総合一斉調査(1-2)一. 岩手県衛研報, no.20, p.70-93.

佐藤 彰・斉藤憲光・高橋 悟(1978) 岩手県の温泉に関する研究(第 15 報)一温泉の総合一斉調査(1-3)一. 岩手県衛研報, no.21, p.62-82.

佐藤 彰・大畠健稔・斉藤憲光・伊藤まき子(1979) 岩手県の温泉に関する研究(第 16 報)一温泉の総合一斉調査について一. 岩手県衛生研報, no.22, p.14-24.

平船清彦・水車正洋・斉藤憲光・高橋正直(1993) 岩手県の温泉に関する調査一掘削泉の短期間における変動調査(VII)一岩手県衛研年報, no.36, p.22-29.

高橋正直・平船清彦・水車正洋・斎藤憲光・嶋 弘一(1993) 岩手県の温泉に関する調査一陸中海岸岩泉町小本地区にゆう出した含硫黄一ナトリウム・マグネシウム一塩化物冷鉱泉について一. 岩手県衛研年報, no.36, p.51-57.

高橋正直・中野克彦(1994) 岩手県の温泉に関する調査一岩手県内の温泉の特質に

ついて一. 岩手県衛研年報, no.37, p.44-68.

柳谷茂夫・梅津芳生(1993) 岩手県新安比温泉に関する 化学的考察. 温泉科学, vol.43, p.47-55.

仙岩地熱地域地質図編集グループ(1985) 10 万分の 1 仙岩 地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-2), 地質調査所, 23p.

高橋正明・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1996) 50 万分の 1 秋田地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-2), 地質調査所, 162p.

新エネルギー総合開発機構(1988) 地熱開発促進調査報告書, no.14, 湯田地域. 855p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 全国地熱資源総合調査(第 3 次), 広域熱水流動系調査, 秋田駒地域, 流体地化学調査報告書(要旨). 141p.

(宮城)

北村 信・石井武政・寒川 旭・中川久夫(1986) 仙台地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 134p.

栗駒地熱地域地質図編集グループ(1986) 10 万分の 1 栗駒地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-3), 地質調査所, 26p.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993)50 万分の 1 新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

高橋正明・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1996)50 万分の 1 秋田地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-2), 地質調査所, 162p.

鈴木励子(1979) アルカリ性鉱泉中のフッ素. 地球化学, vol.13, p.25-31.

宮城県衛生研究所 未公表資料.

(秋田)

秋田県環境保健部自然保護課(1980) 秋田県の温泉. 86p.

秋田県(1991) 秋田の温泉・泉質図

井上 武・乗富一雄・上田良一・臼田雅郎(1973) 秋田県総合地質図幅「大館」及び同説明書. 秋田県, 94p.

井上 武・乗富一雄・上田良一・臼田雅郎(1973) 秋田県総合地質図幅「碓ヶ関」及び同説明書. 秋田県, 45p.

臼田雅郎・白石建雄・岩山勝男・秋本義人・井上 武・乗富一雄(1976) 秋田県総合

地質図幅「六郷」及び 同説明書. 秋田県, 70p.

臼田雅郎・村山 進・白石建雄・伊里道彦・井上 武・乗富一雄(1977) 秋田県総合地質図幅「横手」及び同説明書. 秋田県, 97p.

臼田雅郎・村山 進・白石建雄・高安泰助・乗富一雄 (1978) 秋田県総合地質図幅「大曲」及び同説明書. 秋田県, 100p.

臼田雅郎・村山 進・白石建雄・高安泰助・乗富一雄(1979) 秋田県総合地質図幅「刈和野」及び同説明書. 秋田県, 77p.

臼田雅郎・村山 進・岡本金一・白石建雄・高安泰助・乗富一雄・狐崎長琅・山脇康平(1981) 秋田県総合地質図幅「稲庭」及び同説明書. 秋田県, 110p.

長谷紘和・平山次郎(1970) 五城目地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 46p.

大沢 ・池辺 穰・荒川洋一・土谷信之・佐藤博之・垣見俊弘(1982) 象潟地域の地質(酒田地域の一部, 飛島を含む). 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 73p.

仙岩地熱地域地質図編集グループ(1985) 10 万分の 1 仙岩地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-2), 地質調査所, 23p.

栗駒地熱地域地質図編集グループ(1986) 10 万分の 1 栗駒地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-3), 地質調査所, 26p.

高橋正明・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1996) 50 万分の 1 秋田地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-2), 地質調査所, 162p.

(山形)

山形県環境保健部 未公表資料

山形県環境保健部自然保護課(1979) 山形県温泉賦存図 及び説明書. 49p.

山形県環境保健部自然保護課 (1988) 山形県温泉台帳(源泉台帳)要覧. 80p.

山形県(1993) 山形の自然マップ

土谷信之・大沢 ・池辺 穰(1984) 鶴岡地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 77p.

土谷信之 (1989) 大沢地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 85p.

大沢 ・片平忠実・土谷信之(1986) 清川地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 61p.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50 万分の 1 新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

高橋正明・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1996) 50 万分の 1 秋田地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-2), 地質調査所, 162p.

安孫子真博(1990) 最近の温泉事情. 山形応用地, no.10, p.24-32

(福島)

福島県(1978) 福島県の温泉. 94p.

加藤武雄・大宮由子・杉山智子(1985) 飯豊山地および周辺地域の温泉に関する二, 三の地球化学的知見. 温泉科学, vol.35, p.115-127.

国分信英・山崎 昶・疋田明博・岸本忠也・藤原昭子(1982) 福島県只見川地域の温泉の化学的研究. 電通大学報, vol.33, p.49-61.

国分信英・前沢 仁・藤塚昭子(1983) 奥会津地方の温泉の化学的研究. 電通大学報, vol.34, p.67 - 71.

国分信英・山崎 昶・疋田明博・岸本忠也・藤原昭子 (1985) 水質分析問題点の検討ー温泉水の pH とフッ素濃度の採水後の変化ー. 電通大学報, vol.35, p.161-164.

宮永徳一(1974) 福島県における温泉の泉質一覧(V). 福島県衛公研報, vol.22, p.93-102.

渡部啓司・渡辺隆仁・宮永徳一(1987) アルカリ金属の迅速定量に関する研究(II)ー温泉のリチウムイオン(Li⁺)の定量ー. 福島県衛公研報, vol 26・27, p.65-71.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50 万分の 1 新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

新エネルギー総合開発機構(1987) 全国地熱資源総合調査(第 2 次), 高温可能性地域(南会津地域), 地熱調査成果図集. 72p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 全国地熱資源総合調査(第 3 次), 広域熱水流動系調査, 磐梯地域. 152p.

鈴木励子(1979) アルカリ性鉱泉中のフッ素. 地球化学, vol.13, p.25-31.

(茨城)

茨城県(1988) 茨城県温泉マップ

笹本和博・菊地信生・斉藤 護・高瀬一男・堀川亀雄(1978) 茨城県北部の温泉及び地下水について. 温泉工学会誌, vol.13, p.89-94.

笹本和博・菊地信生・斉藤 護・高瀬一男・堀川亀雄(1980) 茨城県北部の温泉及び地下水について(第2報). 温泉工学会誌, vol.14, p.81-87.

笹本和博・斉藤 護・笠井勝美(1981) 茨城県北部の温泉及び地下水について(第4報). 温泉工学会誌, vol.16, p.24-28.

笹本和博・根本雄二(1984) 茨城県北部の温泉及び地下水について(第5報). 温泉工学会誌, vol.19, p.7-11.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50万分の1新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

高瀬一男(1974) 茨城県の鉱泉, 付一温泉・鉱泉の概念. 大山年次退官記念誌, p.59-68.

茨城県衛生部 未公表資料.

(栃木)

栃木県(1971) 栃木県の温泉地質(上巻). 140p.

栃木県(1978) 栃木県の温泉地質(中巻). 140p.

栃木県(1986) 栃木県の温泉地質(下巻). 140p.

栃木県(1989) 栃木県統計年鑑 昭和63年度版. p.289.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50万分の1新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

新エネルギー総合開発機構(1987) 全国地熱資源総合調査(第2次), 高温可能性地域(南会津地域), 地熱調査成果図集. 72p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 全国地熱資源総合調査(第3次), 広域熱水流動系調査, 那須地域. 133p.

平野光衛・宇塚清司・鈴木陽雄(1986) 八溝山地西麓の温泉群. 宇都宮大教育紀, no.36, p.153-164.

高屋 正・佐藤幸二(1992) 鬼怒川地溝帯の温泉. 温泉科学, vol.42, p.114-124.

(群馬)

酒井幸子(1973) 昭和47年度温泉分析成績. 群馬県衛研報, no.5, p.30-31.

酒井幸子・滝島常雄(1975) 群馬県下の温泉の化学成分. 群馬県衛研報, no.7, p.139-142.

群馬県(1976) 群馬県内の温泉分析成績(昭和50年度). 群馬県衛研報, no.8,

p.31-32.

群馬県(1977) 群馬県内の温泉分析成績(昭和 51 年度).群馬県衛研報, no.9, p.18-19.

群馬県(1978) 群馬県内の温泉分析成績(昭和 52 年度).群馬県衛研報, no.10, p.23-24.

酒井幸子・飯塚俊彦・氏家淳雄(1981) 群馬県下の温泉の化学成分, 第 9 報, ホウ酸含量について. 群馬県衛公研報, no.13, p.90-100.

酒井幸子・飯塚俊彦・氏家淳雄(1982) 群馬県下の温泉の化学成分, 第 10 報, フッ素含量について. 群馬県衛公研報, no.14, p.68-75.

酒井幸子 (1978) 片品川流域の温泉の化学成分. 群馬温協学術調査研報(地学), p.1-24.

酒井幸子・木崎喜雄(1979) 利根郡新治村の温泉の化学成分. 群馬温協学術調査研報(地学), p.1-14.

酒井幸子・氏家淳雄・木崎喜雄(1981) 四万・沢渡温泉の化学成分. 群馬温協学術調査研報(温泉科学), p.1-16.

酒井幸子・氏家淳雄・木崎喜雄(1982)白砂川流域の温泉の化学成分. 群馬温協学術調査研報(温泉科学), p.1-11.

酒井幸子・氏家淳雄・木崎喜雄(1984)吾妻川中流地域の温泉の化学成分(鳩の湯・薬師・温川・湯の上・川中・松の湯・横壁・川原湯温泉ならびに大戸ボーリング井の化学成分). 群馬温協学術調査研報(温泉科学), p.1-7.

酒井幸子・氏家淳雄・木崎喜雄(1985) 利根郡川湯村および吾妻川下流域にある温泉の化学成分. 群馬温協学術調査研報(温泉科学), p.1-7.

酒井幸子 (1981) 群馬県下の温泉水中のホウ酸含量.温泉科学, vol.31, p.128-138.

酒井幸子・鈴木励子(1986) 浅間高原温泉および伊香保温泉の引湯に伴う温泉水ならびに沈殿物の変化.温泉科学, vol.36, p.115-124.

酒井幸子・斉藤 実・鈴木励子(1990) 群馬県の荒船温泉の化学成分. 温泉科学, vol.40, p.80-89.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎. 駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50 万分の 1 新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

高橋 保(1987) 小野子火山南部における温泉の開発と利用. 日本地質学会第 94 年学術大会講演要旨, p.550.

(埼玉)

埼玉県衛生部(1965) 埼玉県鉱泉調査報告. 29p.

甘露寺康雄(1985) 東京都内の温泉と周辺の温泉, その 2. 温泉, vol.53, no.8(ser. no.591), p.15-17.

森川六郎(1971) 秩父山地の鑛泉について. 秩父自然科博研報, no.16, p.1-20.

(千葉)

千葉県衛生部薬務課(1986) 千葉県温泉ガイド. 106p.

相川嘉正・加藤尚之・塚本邦子(1981) 千葉県内温泉, 鉱泉の地球化学的研究. 東邦大教養紀, no.13, p.112-121.

杉崎隆一・吉本泰介・加藤喜久雄・杉浦 孜(1963) 南関東ガス田の地球化学的考察. 地質雑, vol.69, p.67-81.

(東京)

一色直記(1982) 神津島地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅), 地質調査所, 75p.

一色直記(1987) 新島地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅), 地質調査所, 85p.

高橋正明・阿部喜久男・野田徹郎・安藤直行(1987) 伊豆大島地域の地下水の地球化学的研究. 地調月報, vol.38, p.719-730.

甘露寺康雄(1985) 東京都内の温泉と周辺の温泉. 温泉, vol.53, no.8(ser. no.591), p.15-17.

相川嘉正・野口喜三雄・今橋正行(1979) 伊豆七島の温泉の化学成分. 温泉科学, vol.29, p.204-211.

野口喜三雄(1990) 火山の化学—噴火予知. 温泉科学, vol.40, p.42-60.

大沢信二・綿抜邦彦(1992) 三宅島の温泉水およびその他の天然水と水の溶存物質の起源. 温泉科学, vol.42, p.103-113.

東京都総務局三多摩島対策室(1979) 小笠原硫黄島火山活動調査報告書(第 III 報), 10 温泉. p.72-82.

角田清美(1994) 都下多摩川上流の温泉. 駒澤大学高校研究紀要, no.17, p.9-56.

(神奈川)

荻野喜作・平野富雄・横山尚秀・栗屋 徹(1973) 丹沢山地東縁部の鉱泉と七沢周辺の鉱泉の経年変化について. 神奈川県温研報, vol.4, p.153-164.

平野富雄・小鷹滋郎・栗屋 徹・広田 茂・大木靖衛 (1976)松田町寄(やどろぎ)の塩化カルシウム型温泉 (冷鉱泉). 神奈川県温研報, vol.7, p.93-104.

平野富雄・栗谷 徹・大木靖衛(1982) 小田原市の温泉. 神奈川県温研報, vol.13, p.185-192.

大木靖衛・荻野喜作・平野富雄・小鷹滋郎・栗屋 徹・杉山茂夫・大山正雄(1983) 神奈川県温泉誌. 神奈川県温地研報, vol.14, p.99-216.

大山正雄・石田敏夫・石坂信之・平野富雄(1995) 丹沢山地東北部の深部温泉調査. 神奈川県温地研報, vol.26, p.1-10.

石井栄一・伊藤芳朗(1993) 神奈川県三浦半島阿部倉鉱泉を掘る. 温泉科学, vol.43, p.10-19.

(新潟)

新潟県生活環境部(1982) 新潟県の温泉. 149p.

新潟県(1989) 新潟県地質図説明書. p.120-128.

阿部修治・酒井 均・飯島南海夫(1978) 長野県姫川流域の諸温泉の研究. 温泉科学, vol.29, p.58-67.

加藤武雄・大宮由子・杉山智子(1985) 飯豊山地および周辺地域の温泉に関する二, 三の地球化学的知見. 温泉科学, vol.35, p.115-127.

茅原一也・小松正幸(1992) 発海山地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 107p.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎. 駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50 万分の 1 新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

高橋正明・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1996) 50 万分の 1 秋田地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-2), 地質調査所, 162p.

湯原浩三・木島 充(1994) 新しい地熱地域の発見一糸魚川温泉一. 地熱, vol.31, p.61-68.

(富山)

富山県厚生部環境衛生課(1967) 富山県の温泉. 80p.

富山県厚生部環境衛生課(1989) 富山県の温泉. 68p.
富山県厚生部環境衛生課(1993) 富山県の温泉. 70p.
富山県(1970) 富山県地質図説明書. p.80-84.
富山県(1986) (3)地質・自然現象編. 富山県の地形・地質―自然環境管理計画策定のための調査―(富山地学会編), p.49-114.
藤井昭二(1980) 富山県下の地熱について. 富山県地学・地理学研究論集, 第7集, p.18-24.
大浦 徹・松永明信(1978) 1978 年度, 温泉分析について. 富山県衛研年報, p.209.
高柳信孝・大浦 徹(1983) 富山県における温泉中のラドンについて(その 1). 富山県衛研年報, no.7, p.203-206.

(石川)

石川県衛生公害研究所(1960-1963) 温泉試験. 石川県衛公研年報, no.1, p.46-49.
石川県衛生公害研究所(1970) 温泉試験. 石川県衛公研年報, no.8, p.29.
石川県衛生公害研究所(1973) 環境衛生試験. 石川県衛公研年報, no.11, p.26-28.
柿本 均・西川孝蔵・大西道代(1992) 石川県内の温泉の地域的特徴と泉質の相互関連性について. 石川県衛公研年報. no.29, p.129-149.
石川県(1983) 石川県温泉調査報告書―能登編―. 54p.
石川県(1984) 石川県温泉調査報告書―金沢・白山麓―58p.
石川県(1985) 石川県温泉調査報告書―加賀―. 47p.
板倉 淳(1963) 石川県の温泉の分布, 泉質およびその成因について. 温泉工学会誌, vol.1, p.28-34.
本浄高治(1982) 石川県珠洲市における温泉源の相関性について. 温泉工学会誌, vol.16, p.51-56.
紺野義夫(1993) IV.2 地下水・温泉. 石川県地質誌, p.168-183.

(山梨)

山梨県(1986) 昭和 61 年度温泉分析(療養泉)一覧表. 山梨県衛公研年報, no.30, p.69-71.

山梨県(1987) 昭和 62 年度温泉分析(療養泉)一覧表. 山梨県衛公研年報, no.31, p.62-65.

山梨県(1988) 1988(昭和 63)年度温泉分析(療養泉)一覧表. 山梨県衛公研年報, no.32, p.56-57.

山梨県(1989) 1989(平成 1)年度温泉分析(療養泉)一 覧表. 山梨県衛公研年報, no.33, p.72-75.

山梨県(1990) 1990(平成 2)年度温泉分析(療養泉)一 覧表.山梨県衛公研年報, no.34, p.84-87.

杉原 健・島口たけみ(1978) 山梨県の温泉の化学的研究(第 1 報). 山梨大教育研報, no.29, p.30-36.

杉原 健・島口たけみ(1980) 山梨県の温泉の化学的研究(第 3 報). 山梨大教育研報, no.31, p.27-32.

島口たけみ・杉原 健(1982) 山梨県の温泉の化学的研究(第 5 報). 山梨大教育研報, no.33, p.54-59.

杉原 健・島口たけみ(1985) 山梨県の温泉の化学的研究(第 6 報). 山梨大教育研報, no.36, p.23-27.

野口喜三雄・相川嘉正・今橋正征(1972) 山梨県櫛形山付近の鉱泉の化学成分. 東邦大教養紀, no.4, p.82-87.

相川嘉正・加藤尚之・今橋正征・高松信樹・塚本邦子・下平京子・中村幹夫・秋山悌四郎(1983) 富士吉田市周辺の鉱泉及び湧水の化学成分. 東邦大教養紀, no.15, p.17-23.

角田清美(1994) 都下多摩川上流の温泉. 駒澤大学高校研究紀要, no.17. p.9-56.

(長野)

野口喜三雄(1967) 長野県の温泉の化学成分. 温泉科学, vol.18, p.47-64.

中村喜一・坂田 朗・国分信英(1971) 八ヶ岳周辺の温泉の化学的研究. 温泉科学, vol.22, p.1-8.

国分信英・山崎 昶・木下正美・藤塚昭子(1977) 木曾御岳周辺の温泉の化学的研究(第 1 報). 温泉科学,
vol.28, p.53-64.

安部修治・酒井 均・飯島南海夫(1978) 長野県姫川流域の諸温泉の研究. 温泉科学, vol.29, p.58-67.

橋爪 傳(1984) 中央構造線外帯(伊那谷)における食塩泉に関する地球化学的研究. 温泉科学, vol.35, p.1-10.

飯島南海夫・宮島征子(1968) フォッサ・マグナ北部における温泉の地質学的・地球化学的研究(その1)ー 中央隆起帯の温泉ー. 温泉工学会誌, vol.6, p.61-84.

飯島南海夫・岩倉素子(1972) フォッサ・マグナ北部における温泉の地質学的・地球化学的研究(その2)ー 東部堆積盆地の温泉ー. 温泉工学会誌, vol.8, p.125-134.

加藤碩一・佐藤岱生(1983) 信濃池田地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所, 93p.

加藤碩一・赤羽貞幸(1986) 長野地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所, 115p.

高橋正明・山口 靖・野田徹郎・駒澤正夫・村田泰章・玉生志郎(1993) 50万分の1新潟地熱資源図説明書. 特殊地質図(31-1), 地質調査所, 116p.

中野 俊・大塚 勉・足立 守・原山 智・吉岡敏和(1995) 乗鞍岳地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅), 地質調査所, 139p.

新エネルギー総合開発機構(1988) 地熱開発促進調査報告書, no.17, 王滝地域, 953p.

諏訪教育会(1982) 諏訪の自然誌, 陸水編. p.177-228.

長野県商工部(1973) 温泉源開発調査報告書(no.8).

長野県衛生公害研究所 未公表資料.

(岐阜)

岐阜県衛生部 温泉分析表一覧, 初版 no.1(昭和28年)～no.305(昭和45年).

岐阜県(1979) 岐阜県における温泉の概要. 278p.

岐阜県(1981) 岐阜県地質鉱産図概説(第2刷). p.95-112.

岐阜県 未公表資料

岐阜県温泉協会(1994) 岐阜県ひだ・みの温泉ガイド

三階衣子・早川友邦(1970) 岐阜県東濃地方の放射能泉について. 温泉科学, vol.21, p.104-120.

脇田浩二(1984) 八幡地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1図幅), 地質調査所, 89p.

山田直利・足立 守・梶田澄雄・原山 智・山崎晴雄・豊 遥秋(1985) 高山地域の地

質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 111p.

(静岡)

静岡県(1988) 静岡県の温泉一覧. 221p.

海野忠市・渡辺与八郎・永井 武・永野隆夫・山口善三郎・小沢邦雄(1981) 静岡県内の温泉の泉質と化学成分(第 1 報), 韮山・畑毛・奈古谷温泉. 静岡県衛研報, no.24, p.71-76.

海野忠市・永井 武・永野隆夫・山口善三郎(1982) 静岡県内の温泉の泉質と化学成分(第 3 報), 松崎およびその周辺の温泉. 静岡県衛環センター報, no.25, p.49-61.

海野忠市・橋本圭司・岡崎幸司・深沢 均・渡辺 稔・中神 敏・松原壮六郎・小沢邦雄(1985) 温泉水中のアンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素, 硝酸性窒素, リン酸イオン, 過マンガン酸カリウム消費量(有機物)について. 静岡県衛環センター報, no.28, p.97-103.

杉山雄一・下川浩一・坂本 享・秦 光男(1982) 静岡地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 82p.

(愛知)

愛知県(1981) 愛知県鉱泉誌(改訂版). 120p.

高田康秀・近藤善教・宮村 学(1979) 津島地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 56p.

(三重)

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1975) Geochemical data of some mineral springs (III). Memoirs Osaka Kyoiku Univ., vol.24, ser.no.1, p.95-108.

大野武男・小瀬洋喜(1971) 温泉の泉質に関する研究(第 3 報)一超深層地下水の水質一. 温泉工学会誌, vol.8, p.1-8.

安部喜久男(1986) 紀伊半島中南部温泉中のフッ素含有量. 地調月報, vol.37, p.479-489.

吉田史郎(1984) 四日市地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 81p.

吉田史郎・高橋裕平・西岡芳晴(1995) 津西部地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 136p.

(滋賀)

河辺朝美・小林慈信(1973) 滋賀県の温泉(泉質)について(第5報). 滋賀県衛研報, no.9, p.29-30.

中村昇一・園 正・堤 正雄(1975) 滋賀県下の温泉について(第6報). 滋賀県衛研報, no.11, p.80-81.

園 正・中村昇一・堤 正雄(1976) 滋賀県下の温泉について(第7報). 滋賀県衛研報, no.12, p.128-129.

中村昇一・田中勝美・園 正・大野達雄(1977) 滋賀県下の温泉について(第8報). 滋賀県衛環センター報, no.13, p.123-124.

中村昇一・田中勝美・園 正・田中孝幸・徳地幹夫(1981) 滋賀県下の温泉について(第10報). 滋賀県衛環センター報, no.16, p.118-119.

金田恵美子・中村昇一・園 正・田中孝幸・徳地幹夫(1982) 滋賀県下の温泉について(第11報). 滋賀県衛環センター報, no.17, p.73-74.

金田恵美子・大野達雄・園 正・和田 稔(1983) 滋賀県下の温泉について(第12報). 滋賀県衛環センター報, no.18, p.107-108.

金田恵美子・大野達雄・松岡泰倫・和田 稔(1984) 滋賀県下の温泉について(第13報). 滋賀県衛環センター報, no.19, p.101-103.

和田 稔・金田恵美子・松岡泰倫・岡本茂胤(1985) 滋賀県下の温泉について(第14報). 滋賀県衛環センター報, no.20, p.52-57.

和田 稔・松岡泰倫・小嶋美穂子・岡本茂胤(1986) 滋賀県下の温泉について(第15報). 滋賀県衛環センター報, no.21, p.151-155

畑中 稔・松岡泰倫・小嶋美穂子・岡本茂胤(1987) 滋賀県下の温泉について(第16報). 滋賀県衛環センター報, no.22, p.96-98.

畑中 稔・松岡泰倫・松井由廣・岡本茂胤(1988) 滋賀県下の温泉について(第17報). 滋賀県衛環センター報, no.23, p.108-112.

畑中 稔・菅 国夫・井上朋宏・松井由廣・岡本茂胤(1990) 滋賀県下の温泉について(第18報). 滋賀県衛環センター報, no.25, p.138-142.

桂 京造(1970) 近畿地方における放射能泉とそのラドン源について(その一). 温泉科学, vol.21, p.121-133.

栗本史雄 未公表資料.

滋賀県立衛生環境センター 未公表資料

(京都)

京都府衛生部(1984) 京都府温泉誌(付録 74p.). 101p.

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1980) Geochemical data of some mineral springs (IV). *Memoris Osaka Kyoiku Univ., Nat. Sci. and Appl. Sci.*III, vol.29, p.37-42.

桂 京造(1970) 近畿地方における放射能泉とそのラドン源について(その一). *温泉科学*, vol.21, p.121-133.

浅見益吉郎・桂 京造・高桑 進(1985) 京都府下で発見された酸性泉の性状とその成因について. *温泉科学*, vol.35, p.128-140.

(大阪)

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1966) Geochemical data of some mineral springs (I). *Memoirs Osaka Gakugei Univ.*, B.15, p.153-171.

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1967) Geochemical data of some mineral springs (II). *Memoirs Osaka Kyoiku Univ.*, vol.16, p.113-118.

市原 実・市川浩一郎・山田直利(1986) 岸和田地域の地質. *地域地質研究報告*(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 148p.

鶴巻道二・林 敬次郎・四方俊郎(1974) 大阪府南部の鉱泉について. *応用地学の進歩*(岩津 潤教授記念論文集), p.91-119.

栗本史雄 未公表資料.

滝沢文教 未公表資料.

(兵庫)

Yoshitani, A., Ida, M., Yamauchi, S. and Kishimoto, K.(1992) Relationship between geologic structures and geothermal gradients in the Eastern Sanin District. *J. Fac. Educ.Tottori Univ. (Nat.Sci.)*, no.41, p.149-160.

栗本史雄 未公表資料.

(奈良)

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1975) Geochemical data of some mineral springs (III). *Memoirs Osaka Kyoiku Univ.*, vol.24, ser. III, no.1, p.95-108.

Akatsuka, K., Imai, H. and Ito, Y.(1980) Geochemical data of some mineral springs

(IV). Memoirs Osaka Kyoiku Univ., vol.29, ser. III, no.1, p.37-42.

上治寅次郎(1959) 奈良県十津川温泉について. 温泉科学, vol.10, p.29-33.

桂 京造(1970) 近畿地方における放射能泉とそのラドン源について(その一). 温泉科学, vol.21, p.121-133.

栗本史雄 未公表資料.

(和歌山)

辻沢 広・蓬台和紀・森 喜博・岡本享吉(1979) 県内温泉の経年変化(第2報)ー勝浦, 湯川, 大地温泉の経年変化についてー. 和歌山県衛研報, no.25, p.61-66.

蓬台和紀・得津勝治(1980) 県内温泉の経年変化(第3報)ー川湯, 湯の峰, 渡瀬温泉の経年変化についてー. 和歌山県衛研報, no.26, p.75-78.

蓬台和紀・宮本邦彦(1981) 県内温泉の経年変化(第4報)ー小又川, 竜神温泉の経年変化についてー. 和歌山県衛研報, no.27, p.75-79.

阿部喜久雄(1986) 紀伊半島中南部温泉水中のフッ素含有量. 地調月報, vol.37, p.479-489.

金原啓司・阪口圭一・比留川 貴・小川健三・西 祐司・山口昇一(1986) 透水性地域の精密容積算定手法の研究. 昭和 59 年度サンシャイン計画研究開発成果中間報告書, 深部地熱資源探査技術に関する研究, 地質調査所, p.287-309.

鶴巻道二・林 敬次郎・四方俊郎(1974) 大阪府南部の鉱泉について. 応用地学の進歩(岩津 潤教授記念論文集), p.81-119.

(鳥取)

宮田年彦(1965) 温泉分析成績. 鳥取県衛研報, no.4, p.41-45.

鳥取県(1969) 4.1.3.温泉の成分分析. 鳥取県衛研報, no.10, p.17-23.

(島根)

岡林弘之・佐藤一夫・木村俊博・菊地幸子(1962) 島根県に湧出する温泉の化学的研究. 島根県衛研業績報, no.1, p.1-9.

島根県(1971) 7.2.4 環境検査(2)温泉分析. 島根県衛公研報, no.13, p.19-20.

島根県(1972) 7.2.4 環境公害検査(2)温泉分析. 島根県衛公研報, no.14, p.18-19.

島根県(1973) 7.2.4 環境公害科 イ)温泉分析. 島根県衛公研報, no.15, p.18-21.

島根県(1974) 7.2.4 環境公害科 イ)温泉分析. 島根県衛公研報, no.16, p.17-19.

川上誠一・安田幸伸・葛原美紀雄・森本直知・木村俊博・斉藤孝一(1977) 昭和 52 年度に行った温泉中分析の結果について. 島根県衛公研報, no.19, p.144-145.

安田幸伸・森本直知・川上誠一・山崎美紀雄・木村俊博(1978) 昭和 53 年度に行った温泉中分析の結果について. 島根県衛公研報, no.20, p.158.

安田幸伸・川上誠一・山崎美紀雄(1978) 昭和 54 年度の温泉中分析結果について. 島根県衛公研報, no.21, p.115-119.

山崎美紀雄・安田幸伸・川上誠一(1980) 昭和 55 年度の温泉中分析結果について. 島根県衛公研報, no.22, p.135-136.

安田幸伸・石飛 裕(1983) 昭和 58 年度の温泉中分析結果について. 島根県衛公研報, no.25, p.105-106.

石飛 裕・安田幸伸(1984) 昭和 59 年度の温泉中分析結果について. 島根県衛公研報, no.26, p.133

石飛 裕・川津充夫(1985) 昭和 60 年度温泉分析結果について. 島根県衛公研報, no.27, p.115.

石飛 裕・川上誠一(1986) 昭和 61 年度温泉分析結果について. 島根県衛公研報, no.28, p.102-105.

石飛 裕・川上誠一(1987) 昭和 62 年度温泉分析結果について. 島根県衛公研報, no.29, p.75.

石飛 裕・川上誠一・高橋順一・神谷 宏(1988) 昭和 63 年度温泉分析結果について. 島根県衛公研報, no.30, p.97-99.

高橋順一・石飛 裕(1989) 平成元年度温泉分析結果について. 島根県衛公研報, no.31, p.94-96.

高橋順一・川上誠一(1990) 温泉分析結果について(平成 2 年度). 島根県衛公研報, no.32, p.91-94.

高橋順一・山崎美紀雄(1991) 温泉分析結果について (平成 3 年度). 島根県衛公研報, no.33, p.85-88.

高橋順一・生田美沙夫(1992) 温泉分析結果について (平成 4 年度). 島根県衛公研報, no.34, p.110-116.

芦矢 亮・神門利之(1994) 温泉分析結果について(平成 6 年度). 島根県衛公研報, no.36, p.111-113.

島根県(1985) 第 6 章 温泉. 島根県の地質, p.587-593.

服部 仁・鹿野和彦・鈴木隆介・横山勝三・松浦浩久・佐藤博之(1983) 三瓶山地域の地質. 地域地質研報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 168p.

鹿野和彦・山内靖喜・高安克己・松浦浩久・豊 遥秋(1994) 松江地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 126p.

野口喜三雄(1977) 島根県温泉の化学. 温泉科学, vol.28, p.80-92.

角 清愛 未公表資料.

(岡山)

石井 猛・圓堂 稔(1976) 岡山の温泉. 岡山文庫 68, 日本文教出版, 174p.

岡田弘捷・市川省吾・大西 昇・鳥居一郎・越宗久子(1973) 岡山県における温泉の泉質について(8). 岡山県衛研報, no.20, p.82-95.

山本弘捷・市川省吾・池川喜由・鳥居一郎(1975) 岡山県における温泉の泉質について(9). 岡山県衛研報, no.22, p.119-127.

山本弘捷・大西 昇・市川省吾・畑 宏(1979) 岡山 県における温泉の泉質について. 岡山県環境センター報, no.3, p.307-314.

岡山県(1986) 岡山県の温泉に関するデータ集, 第 2 集. 岡山県環境センター報, no.10, p.199-206.

森田啓次郎・清水光郎・山本弘捷・吉村 広(1987) 岡山県における温泉の泉質について(XI) 泉質等による分類結果と分布状況. 岡山県環境センター報, no.11, p.160-164.

森田啓次郎・宮崎 清・吉村 広(1989) 岡山県における温泉の泉質について(昭和 62～昭和 63 年度). 岡山県環境センター報, no.13, p.44-58.

森田啓次郎(1992) 岡山県の鉱泉検査に関するデータ集 (平成元年度～3年度). 岡山県環境センター報, no.16, p.45-54.

(広島)

中村寿夫(1979) 広島県における温泉の成分変化と弗素, 重金属含有量について. 広島県衛研報, no.26, p.43-48.

東元定雄・松浦浩久・水野清秀・河田清雄(1985) 呉地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 93p.

松浦浩久 未公表資料

(山口)

高橋英太郎(1978) 宇部市善和温泉における花崗岩中の緑泥石帯. 山口県の自然, vol.4, no.9, p.6.

西村祐二郎(1988) 山口県の温泉概観. 山口県の自然, vol.5, no.8, p.1-8.

歳弘克史・松尾博美・溝田 哲・松村 宏(1980) 山口県下の放射能泉について. 山口県衛研報, no.23, p.68-73.

渡辺百江・藤村 男(1965) 山口県の温泉. 山口県衛研業績報, no.2, p.1-11.

山口県温泉協会(1991) 山口県の温泉. 115p.

(徳島)

吉田節也・亀代文彦・近藤博之(1975) 徳島県の鉱泉(徳島県温泉分析結果表). 徳島県衛研年報, no.14, p.31-36.

吉田節也・渋谷サチ子・高内健吉(1983) 徳島県の温泉(第 2 報). 徳島県保環センター報, no.1, p.145-152.

高内健吉・津田京子・渋谷サチ子(1988) 徳島県の鉱泉(第 3 報). 徳島県保環センター年報, no.6, p.151-152.

澤崎 勉・伊延悟史・平井千秋(1991) 徳島県の鉱泉(第 4 報), 徳島県保環センター年報, no.9, p.107-109.

(愛媛)

愛媛県(1983) 愛媛の温泉. 55p.

愛媛県(1987) 愛媛の温泉(改訂版). 55p.

愛媛県衛生研究所(1987) 昭和 61 年度鉱泉分析成績. 愛媛県衛生研年報, no.48, p.52.

愛媛県衛生研究所(1989) 昭和 63 年度鉱泉分析成績. 愛媛県衛生研年報, no.50, p.77-78.

愛媛県衛生研究所(1990) 平成元年度温泉分析成績. 愛媛県衛生研年報, no.51, p.59-60.

愛媛県衛生研究所(1991) 平成 2 年度温泉分析成績. 愛媛県衛生研年報, no.52, p.42-45.

愛媛県衛生研究所(1993) 平成 4 年度温泉分析成績. 愛媛県衛生研年報, no.54, p.74-76.

愛媛県衛生研究所(1995) 平成 6 年度温泉分析成績. 愛媛研衛生研年報, no.56, p.57-59.

(高知)

高知県保健環境部衛生課(1991) 高知県温泉水脈推定基礎地質図(20 万分の一).

甲藤次郎・平 朝彦(1984) 高知県下における冷鉱泉の地質学的研究, 第 1 報, 四十帯における冷鉱泉の分布と地質構造の関係. 甲藤次郎教授退官記念論文集, p.295-301.

(佐賀)

佐賀県保健環境部(1978) 佐賀県温泉調査報告(太良町・塩田町・武雄市・池の上・肥前町湯野浦・伊万里 市). 24p.

佐賀県保健環境部(1979) 佐賀県温泉調査報告(武雄温泉第 4 次調査, 武雄市若木温泉・中野温泉及び西有田町西有田温泉調査). 19p.

飯盛喜代春(1983) 佐賀県西部温泉群の地球化学的研究. 温泉工学会誌, vol.18, p.11-21.

伊藤猛夫・松田綾子・溝上鈴子・松本高次(1981) 佐賀県の温泉について(第 10 報). 佐賀県衛研報, no.7, p.61-63.

溝上鈴子・木原幸喜・川原田 優・土田龍馬(1992) 佐賀県の温泉について. 佐賀県衛研報, no.18, p.62-68.

(長崎)

長崎県(1961) 長崎県下の温・鉱泉分析成績. 長崎県衛研報, , p.34-45.

寺田精介・伴 与一郎・川本 功(1967・1968) 長崎県の温泉(第 5 報). 長崎県衛研報 III, p.112-113.

寺田精介・山口道雄・赤枝 宏・伴 与一郎(1968・1969) 長崎県の温泉(第 6 報). 長崎県衛研報, IX, p.74-75.

伴 与一郎・赤枝 宏・馬場強三(1970) 長崎県の温泉(第 7 報). 長崎県衛研報, X, p.41.

寺田精介・香月幸一郎・近藤幸憲(1973) 長崎県の温泉(第 9 報). 長崎県衛公研報, XIII.

仁位敏明・力岡有二・馬場強三・伊豫屋偉夫(1990) 長崎県の温泉(第 21 報). 長崎県

衛公研報, 33,p.61-63.

小林幸廣・仁位敏明・豊村敬郎(1991) 長崎県の温泉(第 22 報), 長崎県衛公研報, 34, p.139-143.

小林幸廣・仁位敏明・豊村敬郎・山口道雄(1992) 長崎県の温泉(第 23 報). 長崎県衛公研報, 36, p.73-75.

荒木昌彦・小林幸廣・宮本眞秀・山口道雄(1993) 長崎県の温泉(第 24 報). 長崎県衛公研報, 37, p.67-69.

荒木昌彦・吉村賢一郎・宮本眞秀・山口道雄(1994) 長崎県の温泉(第 25 報). 長崎県衛公研報, 40, p.113-116.

長崎県衛生公害研究所(1993) 長崎県温泉誌 . 545p.

新エネルギー総合開発機構(1988) 地熱開発促進調査報告書, no.15, 雲仙西部地域. 1060p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 地熱開発促進調査報告書, no.24, 福江島西部地域. 599p.

太田一也(1973) 島原半島における温泉の地質学的研究. 九大島原火温研報, no.8, p.1-33.

服部 仁・井上英二・松井和典(1993) 神浦地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 126p.

(熊本)

熊本県衛生公害研究所(1978) 熊本県鉱泉誌, 第 II 巻. 159p.

豊肥地熱地域地質図編集グループ(1982) 10 万分の 1 豊肥地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-1), 地質調査所, 23p.

新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 全国地熱資源総合調査(第 3 次), 広域熱水流動系調査, 阿蘇地域, 流体地化学調査報告書. 108p.

(大分)

大分県(1994) 大分県温泉調査報告. 温泉分析書第 45 号, p.1-67.

豊肥地熱地域地質図編集グループ(1982) 10 万分の 1 豊肥地熱地域地質図説明書. 特殊地質図(21-1), 地質調査所, 23p.

志賀史光・川野田実夫・江口芳彦(1982) 国東半島の温鉱泉の化学組成. 大分県温調報, no.33, p.77-80.

新エネルギー総合開発機構(1988) 全国地熱資源総合調査(第 3 次), 広域熱水流動系調査, 鶴見岳地域, 流体地化学調査報告書要旨. 82p.

(宮崎県)

宮崎県(1993) 湯とりマップガイドー宮崎県温泉紹介ー(宮崎県温泉地図付き). p.31
露木利貞・鎌田政明・黒川達爾雄(1968) 宮崎県の温泉ー小林市・都城市・西諸県郡・北諸県郡ー. 宮崎県, 62p.

斉藤和洋・前田 武(1985) 宮崎県の温泉. 宮崎県衛研報, no.27, p.55.

平田泰久・野崎祐司・前田 武(1987) 宮崎県内温泉の化学組成と経年変化について(I. 京町温泉, 吉田温泉). 宮崎県衛研報, no.29, p.22-25.

平田泰久・野崎祐司・前田 武(1991) 宮崎県内温泉の化学組成と経年変化について(III. 高原町, 野尻町, 小林市の温泉). 宮崎県衛環研年報, no.1, p.87-89.

平田泰久・野崎祐司・前田 武(1991) 宮崎県内温泉の化学組成と経年変化(IV)(都城市, 北諸県郡の温泉). 宮崎県衛環研年報, no.2, p.74-77.

平田泰久・野崎祐司・前田 武(1991) 宮崎県内温泉の化学成分の特徴と経年変化(V). 宮崎県衛環研年報, no.3, p.54-56.

遠藤秀典・鈴木祐一郎(1986) 妻及び高鍋地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 105p.

(鹿児島)

浜田春樹・北園正人(1974) 昭和 48 年度温泉郷別泉質分析結果. 鹿児島県公衛研報, no.10, p.28-29.

北園正人(1975) 昭和 49 年度温泉郷別泉質分析結果. 鹿児島県公衛研報, no.11, p.51-52.

鹿児島県(1980) 2. 温泉分析. 鹿児島県公衛研報, no.16, p.23-24.

鹿児島県(1984) 6. 鉱泉分析. 鹿児島県公衛研報, no.20, p.19-21.

鹿児島県(1986) 6. 鉱泉分析. 鹿児島県公衛研報, no.22, p.20-22.

鹿児島県(1990) 鹿児島県の温泉, 霧島火山地域の温泉(その 1). 89p.

鹿児島県(1991) 鹿児島県の温泉, 鹿児島市および周辺の温泉. 169p.

鹿児島県(1992) 鹿児島県の温泉, 指宿地域の温泉. p.125p.

- 鹿児島県(1993) 鹿児島県の温泉, 霧島火山地域の温泉(その 2). 112p.
- 鹿児島県(1994) 鹿児島県の温泉, 川薩・日置地域の温泉. 101p.
- 鹿児島県(1995) 鹿児島県の温泉, 北薩・伊佐・吉松地域の温泉. 77p.
- 露木利貞・鎌田政明・黒川達爾雄(1972) 鹿児島県の温泉―離島の諸温泉―. 鹿児島県, 33p.
- 新エネルギー総合開発機構(1986) 地熱開発促進調査報告書, no.11, 池田湖周辺地域. 685p.
- 新エネルギー総合開発機構(1987) 全国地熱資源総合調査(2 次), 火山性熱水対流系地域タイプ, 国分地域説明書. 67p.
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構(1989) 地熱開発促進調査報告書, 中間報告書, 菱刈地域. p.341- 406.
- 佐藤岱生・長浜春夫(1979) 屋久島西南部地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 図幅), 地質調査所, 47p.
- 茂野 博・佐藤喜男(1990) 鹿児島県南種子町温泉調査報告書. 地質調査所, 28p.
- 太田一也(1988) 諏訪之瀬島御岳東部の温泉. 第 1 回諏訪之瀬島火山の集中総合観測, p.45-49.